

# 市長が行く



茂原市長 田中豊彦



## 人口移動に変化の兆し

先日、ガス会社の役員の方から、「茂原市はすごいですね」というお電話を頂きました。私は思わず「えっ何が？」と聞き返してしまいました。ガス業界紙（ガスエネルギー新聞2022年2月28日号12ページ）に、総務省統計局の国内の人口移動に関する記事が掲載されていて、2021年の「住民基本台帳人口移動報告」の中で、茂原市の転入者数が全国で11番目となっているということでした。

早速その記事を送ってもらい確認したところ、確かに、転出超過から転入超過に転じた市として、茂原市が11番目に掲載されていました。記事に添えられた表では、2019年の転入超過数は、マイナス663人だったのに対し、2021年の転入超過数はプラス359人に

なっており、1022人増加したことになります。これは茂原市にとっては大変喜ばしいことです。今はまだ希望的観測の域を出ませんが、新型コロナウイルスの感染拡大は、確かに働き方や生活様式を大きく変えてきていて、地方が注目されるきっかけになっているように思われます。

記事の中には、感染拡大から2年が経ち、各地の地方ガス経営者の話として、「リモートワークなどの普及が地方への人の移動を促す契機になる」、茨城県担当者の方の見方として、「在宅時間が増える中、東京圏に近く、自然環境も豊かな点などが評価されたのではないか」と記述されています。

実際に移り住んできた方たちからなぜ茂原市を選ん

だのかのアンケートを取るようにしていきたいと思いますが、考えられるのは、産業振興が進んでいること、圏央道のインターが3カ所整備されていて都心や空港への利便性があること、マスコミにも取り上げられているガス料金の安さ、豊かな自然とそれに伴う食の豊かさ、温暖な気候などでしょう。

人口減少が心配されていた中で、今後の展開に希望が持てる明るいニュースです。

茂原市の魅力をこれからもどんどん発信し、より多くの移住者を迎えられるよう医療や教育環境を整え、少しでも活気のある市にしていくことができるよう今後も頑張っていきたいと思っています。